

2024年度 事業報告

2024年4月1日～2025年3月31日

1 事業概要

1月に厚生労働省より発表された2024年の自殺統計では、小中高校生の自殺が527人と過去最多になったとの報告がありました。子どもたちを取り巻く環境はより一層深刻なものとなっている現状を踏まえ、子どもたちのこころの居場所としてのチャイルドライン活動を継続しています。

2022年3月からは神奈川県内のみならず、日本全国の子どもたちの声に耳を傾けることを目指し受信地域を全国に拡げ、今年度もたくさんの子どもの声を聴くことができました。加えて2023年8月から開始したオンラインチャットも活動として定着し、より子どもが利用しやすい環境を整え、さらに地域の関係団体と連携し、緊急時や必要なケースにおいてスムーズなサポート体制を構築してきました。

また、子どもたちと関わる受け手ボランティアの質を高めるため、研修や事例検討を積極的に行い、それによって研鑽を積んだ受け手が様々な子どもたちの話を受け止めました。

2 重点事業

(1)チャイルドライン事業 参考資料-添付資料①

○電話事業の充実

開催日時・・・月・水・木の16時から21時、フリーダイヤル

受け手4～9人、支え手またはチーム支え手1～2人

ピアヘルパー2～4人

電話件数・・・8868件の電話を受けた

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
588	570	561	741	810	746	1040	805	849	832	669	657	8868

○子どもたちへのチャイルドラインの周知

・チャイルドラインカードの発行と配布

全国共済神奈川県生活協同組合と県内の教育委員会の協力により、県内小中・中等教育・高等・特別支援学校の児童、生徒たちに約61万枚のカードを配布した。

5月：横浜市立小・中・高等・特別支援学校	132,230枚
7月：川崎市立小・中・高等・特別支援学校	116,460枚
9月：神奈川県立高等・中等・特別支援学校	52,620枚
10月：神奈川県内私立学校	64,960枚
1月：神奈川県その他の小・中・高等・特別支援学校	239,080枚
合 計：	605,350枚

・ホームページにおいて子ども向けページを設け活用。

○オンライン事業の実施

・オンラインチャットの実施 月 1 回(第 4 土曜日 16 時から 18 時)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受け手	3	3	1	7	5	2	3	4	2	3	2	2	37
支え手	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	14
件 数	4	5	0	2	8	7	5	7	4	6	5	0	53

(2)研修、スキルアップ事業

○受け手に対する研修事業の充実

・子ども支援者養成講座の開催(市民向け・受け手のスキルアップ研修兼ねる)(全10回) 別表参照

・事例検討会の開催(全7回)

電話事例(全5回)

5/18(土) 10:00~12:00 講師:小出 太美夫 参加 10 名

8/31(土) 10:00~12:00 講師:松橋 秀之 参加 10 名

12/7(土) 10:00~12:00 講師:小出 太美夫 参加 10 名

1/18(土) 10:00~12:00 講師:松原 康雄 参加 16 名

3/15(土) 10:00~12:00 講師:野口 由起子 参加 10 名

チャット事例(全2回)

10/5(土) 14:00~16:00 講師:宮田 智基 参加 13 名(外部2名)

12/21(土) 13:00~15:00 講師:松原 康雄 参加 5 名

・個人スーパーヴィジョン 随時

・受け手対象の受け手ニュース発行(毎月最終水曜)

【表】子ども支援者養成講座 2024

公益財団法人よこはまユース(横浜市青少年育成センター)共催

公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団 後援

前期講座(全5回) 市民向け(希望する受け手も含む)

第1回	9月7日(土) 10:00~12:30	子どもの状況とチャイルドライン	松原 康雄	27 名(8) 35 名
第2回	9月 14 日(土) 10:00~12:30	子どもの性教育	高橋 幸子	26 名(9) 35 名
第3回	9月 21 日(土) 10:00~12:30	子どもの権利擁護 ～虐待から自立へ	高橋 温	26 名(9) 35 名
第4回	9月 28 日(土) 10:00~12:30	青少年を取り巻く問題 ～思春期の性(仮)	岩室 紳也	26 名(8) 34 名
第5回	10 月 5 日(土) 10:00~12:30	子どもの SNS 相談の実際	宮田 智基	24 名(10) 34 名

後期講座(全5回) 受け手希望者向け兼受け手スキルアップ研修

第1回	10月19日(土) 10:00~12:30	子どもの話を聴く	小出 太美夫	14名(10) 24名
第2回	10月26日(土) 10:00~12:30	横浜市内学校の現状	佐藤 俊英	18名(11) 29名
第3回	11月2日(土) 10:00~12:30	性の多様性 ~LGBTQの理解~	遠藤 まめた	16名(5) 21名
第4回	11月9日(土) 10:00~12:30	ヤングケアラーを取り巻く 社会情勢	勝呂 ちひろ	15名(12) 27名
第5回	11月16日(土) 10:00~12:30	チャイルドラインの電話	松橋 秀之	15名(10) 25名

カッコ内は受け手受講者数

前期講座受講者数 173 名 後期講座受講者数 126 名 合計受講者数 299 名(延べ人数)

講座終了後に 13 期生として活動に加わった受講者数 9 名

○受け手のケアの充実

・受け手が、支え手やピアに話しかけやすく、リラックスできる環境づくりを目指し、電話を受ける前後に支え手が事例を共有するなどケアを行った。また、ピア研修を実施しピアとしての活動へのサポートも行った。

・ピア研修(年 2 回)

7/6(土) 13:00~15:00 講師:松橋 秀之 参加 7 名

1/18(土) 13:00~15:00 講師:松原 康雄 参加 7 名

・毎月にシフト申込み状況を確認し、不足枠について周知し追加募集をすることで電話シフトへの参加を促し、より参加しやすい環境を整えた。

○第 13 期インターン生の養成

・2025 年 2 月 1 日からインターンとしてチャイルドライン活動を開始。電話対応時、支え手による個人スーパーヴィジョンを行った。

(3)広報事業

○情報誌「Harmony」の発行。

年 2 回(76 号~77 号)発行 2000 部(共同募金会、NHK 歳末たすけあいのご協力)

配布先・・・会員、寄付者、県内小・中・高等学校、はまっこ・キッズクラブ

図書館、地区センター、児童家庭支援センター、児童相談所、教育委員会

○情報発信

ホームページを運用し情報を随時更新した

(4)啓発イベントの開催

○チャイルドラインの社会的認知をはかる

・講師派遣事業をホームページに掲載し、継続的に講師派遣事業を 6 件行った。

7月4日(木)	金沢区専任協議会	「子どもの SOS を受け止めるために」 野口 由起子(副代表)
9月7日(土)	子どもセンターてんぼ 養成講座	「子どもの SOS を受け止めるために」 野口 由起子(副代表)
10月18日(金)	聖ヨゼフ学園中学校	「生命尊重学習会」 松橋 秀之(副代表)
2月7日(金)	川崎市高津区 要保護児童対策地域協議会	「子どもの SOS を受け止めるために」 野口 由起子(副代表)
2月20日(木)	千葉県 健康福祉部児童家庭課	「子どもの発達とアセスメントについて」 小出 太美夫(支え手)
2月22日(土)	子どもセンターてんぼ 養成講座	「子どもの SOS を受け止めるために」 野口 由起子(副代表)

(5)企業や行政、他機関との連携

○活動を広げていくために積極的に連携をはかる

・子ども支援者養成講座 2024 を公益財団法人よこはまユースと共催、公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団の後援で行った。

・青少年育成センター主催の研修会において開催協力を行った。

電話で子ども・若者の声を受け止める研修 ～よこはまチャイルドラインの実践から～

2/15(土) 10:00～13:00 講座・グループワーク 講座講師:小出太美夫

2/18(火) 10:00～13:00 ロールプレイと解説

オンライン(zoom)

3 組織運営に関する事業

○よこはまチャイルドラインの運営の充実をはかる

・総会

役 割:全ての正会員で構成される最高議決機関

会 議:6月8日(土)

会員数 122 人出席総数 65 人(うち表決 33 人、委任 13 人)

全ての議案が可決された。

・理事会

役 割:全ての理事で構成され、業務執行の決定など
会 議:年 5 回実施(6/8・9/4・12/23・2/8・5/10)
メンバー 理事 11 名 監事1名

・運営委員会

役 割:理事の業務を補助
会 議:実施なし
メンバー 8 名

・広報

役 割:会員や寄付の増加につながるよう、情報発信に努めた
会 議:3 回実施(情報誌編集会議)(5/7・9/1・1/27)
メンバー 3 名

・子ども支援事業部

役 割:子ども支援業務に関するデータ管理や受け手の質の向上に努めた
会 議:3 回実施(7/6・12/7・2/1)
メンバー 7 名

・事務局

役 割:運営上の諸事務を担当
会 議:7 月よりサポーターミーティングを月 1 回実施
サポーター(事務局補佐)
メンバー 9 名

・受け手

役 割:電話及びオンラインチャットにおける受け手活動
メンバー 71 名

・支え手

役 割:受け手に対する指導・助言
会 議:12 回
メンバー 17 名

・ピアヘルパー

役 割:受け手のケア全般
会 議:5 回実施(6/10・9/2 以降、毎月第 1 金曜日 20:00-21:00)
メンバー 8 名

・ファンドチーム

役 割：運営するための資金活動を行う

会 議：実施なし

メンバー 2 名

4 今後の課題

よこはまチャイルドラインとして、多様な子どもたちの声を受け止めるため、従来の電話に加え、オンラインチャットやネット電話を使用した活動を充実させていくことを課題としていくこととする。